

新型コロナウイルス対応 緊急支援助成 ～ひとりしにない、させない助成～ 採択団体(全8団体)

団体名	所在地	事業名	事業概要	選定理由	助成額
特定非営利活動法人とちぎみらい withピア	栃木県	子育て世代人生の夢再構築プロジェクト 【副題】ポストコロナめざしてピアセンターの設立	未曾有のコロナ禍の中で感染予防を主軸に抑圧された感情やつながり感消失の危機感で育てにくさを抱えた子育て世代と支援者に焦点を当て、多様な子育て観と消失しかけていた人生の夢の再構築に寄り添いつなぎエンパワメントを支え、ポストコロナの新しい日常を生きて生かせる力を育み、共感できる仲間と共に住み慣れた地域で集える居場所作りへの意欲を高める。 子育て世代を支える保健師・助産師・保育士・児童福祉等々の支援者及びコロナ禍の子育てに関心のある者も含めて対象とし、1. オープンメント方式による多様な子育て観公開研修会、2. リフレッシュマハ(ハ)含)クラス ③、3. 子育て世代ピアカフェを実施する。	申請書類から事業計画の盤石さが読み取れ、これまで同様の活動を行ってきたことから、事業への信頼性が高い。また、理事の専門性が高いことも評価された。今の体制からさらに事業を拡大していきたいという想いが感じられ、ぜひこの活動を広めていただきたい。	【助成総額】 2,017,954円 【直接的経費】 0円
特定非営利活動法人サロみんなの保健室	栃木県	心身に不安のある方の無料健康相談と支援	1. 無料の健康相談と支援 活動日 火曜日・水曜日・木曜日 午後 2時～6時 方法:対面による相談・電話による相談(孤立化防止のためできる限り対面によるカウンセリングを進めている) 支援者は有資格者(保健師・助産師・看護師・社会福祉士)シフトを組んで2人～3人体制 2. 健康維持増進のためのセミナーや交流会の実施 月に 1回～2回:高齢者の虚弱の改善、生活習慣病予防、依存症予防、など企画する。講師は内部講師の他に多職種と連携し依頼する。	行政ができない隙間を縫った事業展開を目指しており、行政とは異なる部分でセーフティネットを作っていくという気持ちがあり、これまでの活動や申請書から伝わる。地域福祉分野においてアフターコロナをテーマとした貴重な活動であり、これらから地域社会に増えたいってほしい。また、看護協会の元会長が組織に所属し、他のメンバーもそれぞれの専門職を活かしながら積極的に活動をしている点も評価された。	【助成総額】 903,000円 【直接的経費】 728,000円 【管理的経費】 175,000円
特定非営利活動法人風車	栃木県	子供たちのための無料の学習支援	現在活動している居場所「風の家」にて大学生や教職経験者による無料の学習支援を通して不登校や引きこもりになっている子供たちに学習の遅れを少しでも取り戻してもらおう。また、貧困問題や特定の理由で塾に通えない子どもたちの支援に繋げる。勉強だけでなく、様々な悩みを話せる居場所の役割も担う。また、運営を所属大学生や精神的な障がいをもっていることで社会に溶け込むことが難しい人たちが行うことにより、サポートをする側の自己実現や自己有用感の向上につながる。若者の中で社会貢献に対する意識を高め、助け合いの精神を育むことが期待できる。 SNSや広報誌を通して、活動を地域住民に発信し、支援を得る仕組みを作る。	既に居場所(風の家)を運営している点で実行可能性があり、無料学習支援はコロナ対策として大切な活動であること、活動に対しての資金計画に妥当性があることが評価された。	【助成総額】 820,000円 【直接的経費】 694,000円 【管理的経費】 126,000円
特定非営利活動法人子どもの育ちを応援する会	栃木県	NPO法人子どもの育ちを応援する会	①子どもお弁当配布事業:毎月1回(長期休暇は2回)、日祝日に那須塩原市立共英小学校で100食のお弁当を配布する。毎時ボランティア15名の参加。 ②家庭訪問型家事子育て支援サービス:子育てで困難を抱える保護者の依頼があった場合、電話対応や家庭訪問をして家事支援や子育て支援を行う。 ③困窮家庭支援:子どもお弁当時に配布しているフードパントリーのものを週1回家庭訪問をして届けている。(現在2軒) ④昼食付居場所作成:日祝日に子どもだけで参加可能な居場所作り、送迎あり。昼食無償提供	閉鎖的である学校が多い中、学校を拠点に事業を展開していたり、学校側にアドバイスを求められたりしていることで信頼関係が構築できている。また、助成金額が小さいことから、今後資金面で活動が停滞する可能性が小さいように思える。	【助成総額】 613,470円 【直接的経費】 613,470円 【管理的経費】 0円
一般社団法人えんがお	栃木県	コロナ禍で分断されたつながりの再構築事業 【副題】コロナ禍における全世代参加型のまちづくり	高齢者の孤立の予防と解消に向け、屋外スペースも活用した地域サロンを実施していく。また、サロンに来られない方など、つながりの薄化が想定される高齢者には定期的に電話でつながりや健康状態の状況確認を行うサービスを実施。対象者は、これまでの業務で得たつながりをもとに、行政と連携して必要な人に情報を届け、本人の状態を地域包括支援センターなどにも共有していく、必要に応じて訪問も行う。本人に必要なサービスへとつなげていく。加えて、障がい者向けのグループホームを開設(法人と株目)、地域での受け皿としての機能だけでなく、地域サロンとも連携し、障害者が地域と関わりながら役割をもって生活する拠点を増やしていく。	コロナ禍に対応し、柔軟に制度から離れた人たちに対応する等、事業展開を考えられているところが良い。この助成事業をきっかけに新しく事業を再構築し、今後ますます勢いをつけて活動してほしい。	【助成総額】 3,276,000円 【直接的経費】 3,276,000円 【管理的経費】 0円
特定非営利活動法人キーデザイン	栃木県	不登校相談窓口支援と居場所つなぎ支援	①個別のLINE相談窓口開設、複数人で相談しあう親の会の運営 親が気軽に相談できるLINE相談窓口(電話も可)を開設、運営。共に子ども、家族の問題に向き合い伴走する。※現在開設から約1年が経ち、登録者数403名 またそのLINE相談窓口利用の保護者から希望者を募り、オンラインで親同士が悩みを共有、相談し合える機会を月1回程度行う。 ②県内居場所マップの作成 県内の子ども・保護者のニーズに対応できる支援機関とネットワークをつくり、県内の居場所を一覧にしたマップを作成する。作成したものは、県内の居場所・中間支援センター、子ども家庭支援団体、各企業、飲食店、病院等に設置し広く周知をはかる。	コロナ禍でさらに不登校の数が増える中で、ニュースレターの発行や、居場所マップは効果を発揮すると考える。また、LINE相談窓口の拡大も今後のニーズに合わせていく。	【助成総額】 2,557,100円 【直接的経費】 2,557,100円 【管理的経費】 0円
特定非営利活動法人フードバンクうつのみや	栃木県	コロナ禍対策きずなセット提供プロジェクト 【副題】栃木県内フードバンク団体の相互連携強化	2021年7月から2022年2月までの期間中に全7回の主催食品提供企画を実施しての生活困窮者支援を行うと共に食品ロス削減への貢献。当団体の「総合相談支援」や「情報発信」のノウハウを他団体に提供するための栃木県内のフードバンク団体・支援団体・活動に興味がある人を対象に行う勉強会の開催。行政機関を対象に行う勉強会の開催。2022年度以降は9月に1度発行することを目標として「栃木県内のフードバンク団体」についての情報誌を制作する。李勤市事業が支所での地域支援拠点としての食品提供機能強化。宇都宮市市街地に新たな食品倉庫を借り、改修すると共に食品寄付受け入れ機能強化と冷蔵・冷凍設備の導入。	県内全域へのフードバンク団体、関係機関への波及効果も考えられており、今まさに必要な取り組みである。情報誌を新たに作り、事業を広げていきながら、県内のセーフティネットをぜひ実現してほしい。	【助成総額】 5,000,000円 【直接的経費】 4,000,000円 【管理的経費】 1,000,000円
特定非営利活動法人那須高原自然学校 <コンソーシアム申請>	栃木県	自然体験を取り戻そう!! 【副題】～とちぎの未来を背負う子どものために～	●県内の子どもたちに、コロナウイルス感染対策をとりながら、日帰り型、宿泊型の自然体験活動の機会を届ける(全ての子どもたちの成長を支える) ●経済的に困窮している家庭の子どもたちも自然体験活動に参加できるように、子ども支援団体とも連携し仕組みをつくる(子どもたちの、体験の格差をつくらない) ●県内(場所は普段自然体験と触れる機会が少ない方も出入りする場所を第一候補とする)での屋外の自然体験イベントを開催。コンソーシアム構成4団体を中心に県内自然体験活動団体に声掛けをする。(自然体験活動の必要性や安全性を発信する) ●構成4団体のボランティアを対象とした研修の実施(関係者のレベルやスキルを高める)	今回コンソーシアムを組んだ団体それぞれに強み、実績があり、事業の妥当性、実行可能性が十分評価できる。また、SDGsの観点からも子供の遊び場というところで評価できる。素晴らしい活動であり栃木からなくなってしまうのは困る必要のある活動である。	【助成総額】 4,667,120円 【直接的経費】 3,792,120円 【管理的経費】 875,000円